

# 長野県テニス協会 創立50周年にあたって

理事長 三村 功

このたび長野県テニス協会創立50周年にあたり、これまで協会の設立から今日までご尽力を賜りました皆様方のご厚情に対しまして心より御礼申し上げますとともに、協会の運営につきましても日頃から並々ならぬご協力をいただき重ねて御礼申し上げます。また、ここに創立50周年記念誌を発刊するにあたり、関係各位のご理解ご協力により発行の運びとなりましたことにはあらためまして御礼申し上げます。

協会創立50周年となる節目のときに協会の責任ある役職を承っていることに、あらためて責任の重大さを認識しております。時代の趨勢を見極めつつ、あるべき協会の動向を見失わないよう皆様方の協力を仰ぎながら事業を推進していきたいと思っております。顧みますればテニスを始めて40数年が経過して、まだまだテニスがマイナーなスポーツだったその当時のことを思い出しますと感慨無量のものがあります。協会の運営に多少なりとも携わるようになって30数年、なんとかやってこられたのも熱意ある皆様方と一緒にあったればこそと、今更ながら恵まれた環境に感謝する次第であります。

昨今のテレビドラマやアニメの影響もあり、テニスをしたい人は年々増加の一途をたどっており協会にとりましては大変喜ばしい限りであります。特にジュニアのテニスプレーヤーの増加は、加盟団体における日々の献身的なボランティア活動が、如実に実を結びつつある結果であると思っております。この機を逃さず長野県テニス協会の将来を託するジュニアの指導・育成には、各委員会・加盟団体との連携を保ちながらいろいろな事業に取り組みながら進めております。それと共に数ある生涯スポーツの中からテニスを選択し、楽しんでおられる協会会員皆様方のお役に立てられる協会になればと思っております。

長野県のテニス界を代表する団体として、事業を推進するにあたりいま何が必要かを常に考えながら、また、それらに対応すべく公平・迅速な判断が必要かと思っております。ただ、長野県テニス協会を取り巻く環境は、昨今の経済的な不況の折り決して安閑としていられる状況ではありません。特に収入の減による協会運営の在り方、事業の進め方においては早急に解決しなければならない時に至っており、いろいろな手立てを提案しておりますが、残念ながら有効かつ前進的な解決策には至っておりません。このままでは協会の資質を問われることになるのではないかと危惧しております。前述のような状況下の中で委員長の方々には、直面している諸問題に対処しながら委員の若返りを図りつつ、適材適所の人材を発掘して年齢に関係なく登用してそれぞれ活発に活動しております。ボランティア的な提供をしていただける人が少なくなっている昨今、各委員会とも人材確保には苦慮していますが、やる気のある若い力が徐々に結集しはじめているのはたいへん嬉しい限りです。

今後は、近い将来に迫っている市町村統合による見直しの中で、それぞれの加盟団体においては各市町村を代表するテニス団体である責任を全うするため、市町村内は勿論のこと近隣にも幅広く入会を促し、より多くのテニス愛好者に対して“テニスライフ”のお手伝いができる協会を目指して、県協会共々対応できる態勢を整えていただければと思っております。

長野県テニス協会が今後も益々発展しますよう関係各位のご協力、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。